

添付書類の記入例

別添3

添付書類参考書式

(ページ)

事業計画書（共通）	①・②
事業計画書（一般）	③・④
事業計画書（自己用個人住宅）	⑤
事業計画書（資材置場）	⑥
事業計画書（砂利等採取）	⑦
事業計画書（建売分譲、宅地分譲）	⑧・⑨
事業計画書（植林）	⑩
被害防除計画書	⑪
農地復元計画書	⑫
融資証明書	⑬
農地転用事業進捗状況報告書提出督促状	⑭
農地転用事業促進催告状	⑮

事業計画書等の使い方

(別添1の「添付書類一覧表」に掲載されている書類のうち、図面を除き
転用事業者が作成すべき書類は次の組み合わせで概ね網羅される。)

一般の場合	①・②・③・⑪	+必要に応じて④・⑫・⑬
自己用個人住宅の場合	①・②・⑪	+必要に応じて⑤・⑬
資材置場の場合	①・②・⑥・⑪	+必要に応じて⑫・⑬
砂利等採取の場合	①・⑦・⑫	+必要に応じて⑬
(砂利採取計画認可申請書写しを添付する場合)		
建売分譲の場合	①・②・③・⑨・⑪	+必要に応じて⑤・④・⑬
宅地分譲の場合	①・②・③・⑫	+必要に応じて③・④・⑬
植林の場合	①・②・⑩	+必要に応じて⑬

記入例の解説

※この記入例は一般住宅のために農地を転用する際によくある記入例となっております。
申請書を提出する前に、農地転用の内容について農業委員会事務局の窓口でご相談ください。

添付書類の記入例(事業計画書(共通) 1)

記入例の解説

①

事業計画書(共通)

1 農地転用を必要とする事業を行う理由

一般住宅に供するため

2 農地を適地として選定した理由

豪雪地帯であり、また自家用車が必須となる地域事情のために、庭や駐車に支障がないスペースがある場所を探していたところ、申請の農地しか条件を満たす土地がなかったため。

3 転用事業費内訳

用地取得・借上経費	3,000,000
造成・整地経費	3,500,000
施設・建物建設経費	26,000,000
設計費	800,000
測量・登記経費	500,000
搬入費等諸経費	2,000,000
合計	35,800,000

4 資金計画

自己資金	23,000,000
借入資金	12,800,000 (金融機関名等 ○○銀行融資センター)
補助費	0 (事業名称)
合計	35,800,000

5 過去の転用事業の (有 ・ 無)

(有る場合)

転用事業 (完了 ・ 未完了) 未完了の場合はその理由と今後の計画

6 転用事業の妨げとなる権利者の (有 ・ 無)

(有る場合)

権利者名	権利内容	同意状況
------	------	------

7 転用事業に関連する他法令の (有 ・ 無)

(有る場合)

該当法令名	手続状況・予定	進行見込み
-------	---------	-------

1. 農地転用を必要とする事業を行う理由

申請書の転用の目的を参考にして記入してください。

2. 農地を適地として選定した理由

農地の転用が必要になった理由を具体的に記入してください

3. 転用事業費の内訳

転用に必要経費の内訳を記入します。
見積書等を参考に記入してください。

4. 資金計画

事業を行うための資金について記入します。
添付書類として、記入した金額が確認できる預金通帳の残高が確認できるページのコピーや、金融機関からの融資証明書が必要となります。

5. 過去の転用事業の有無

過去にも農地の転用を行ったことがあるかどうかを記入してください。

6. 転用事業の妨げとなる権利者の有無

転用事業の妨げとなるような権利者がいるかどうかを記入してください。

7. 転用事業に関する他法令の有無

転用事業に関して他に法令があるかどうかを記入してください。

添付書類の記入例(事業計画書(共通) 2)

②

8 一体として利用する農地以外の土地の (有 ・ **無**) ※道水路を含む。
(有る場合)
土地の所在 地番 現況地目 面積 所有者 同意・調整状況
m²

9 造成・盛土の (**有** ・ 無)
(有る場合)
盛土高 0.3 m 土量 130 m³

10 河川等から取水の (有 ・ **無**)
(有る場合)
必要性
取水方法
取水量 m³

11 上水道引き込みの (**有** ・ 無)
(有る場合)
本管等の位置と引き込み方法

12 排水の (**有** ・ 無)
(有る場合)
別様式「被害防除計画書」添付

【許可後1年以内に完了できない場合】

工程 (曆に対応したものでなく許可日から起算したのもよい。)

【一時転用の場合】

別様式「農地復元計画書」添付

工程 (着工から農地復元まで。曆に対応したのではなく許可日から起算したのもよい。)

【転用後に施設を貸し付けする場合】

貸し付け施設名 借り受け者名 契約予定内容 (金額、期間等)

記入例の解説

8. 一体として利用する農地以外の土地の有無

転用で農地以外の土地を一体で利用する場合に記入してください

9. 造成・盛土の有無

造成・盛土を行う場合に記入してください。
造成・盛土について被害防除計画にも記入があります。

10. 河川等からの取水の有無

河川等から取水する場合は記入してください。

11. 上水道引き込みの有無

上水道を利用する場合は記入してください。
給排水計画について図面等で確認が必要となります。

12. 排水の有無

排水の有無について記入してください。
給排水計画について図面等で確認が必要となります
被害防除計画書にも記入が必要となります。

添付書類の記入例(事業計画書(一般) 1)

③

事業計画書(一般)

※他に事業計画書(共通)を添付する。

1 事業者の説明(現在の事業内容、事業歴概要)

現在、鷹巣地区の高野尻のアパートに夫婦と子供2人の4人で居住しています。

2 農地転用を必要とする事業の概要(施設等の内容・利用方法、又は転用行為の内容・規模等)

子供たちが成長し手狭になってきたことから、住宅を建築したい。
子供部屋や、部活動の道具の置き場、通勤用に自家用車の駐車スペースを考えている。

3 農地転用を必要とする事業全体の敷地面積の必要性・数量的な根拠

住宅部分のほか、多目的に使えるように庭部分を広くフラットにしている
また、それとは別に夫婦それぞれ通勤で使用している2台分の自動車の
駐車スペースを設けている。
(別紙図面参照)

記入例の解説

1. 事業者の説明

農地転用を行う申請者の現在の状況を記入します

2. 農地転用を必要とする事業の概要

どのように農地を転用するのか記入します
施設の概要や規模等を簡単にまとめて記入してください

3. 農地転用を必要とする事業全体の敷地面積の必要性・数量的な根拠

転用する面積が必要な理由を具体的に記入してください。
平面図等であわせて確認します。

添付書類の記入例(事業計画書(一般)2)

④

【農用地区域内にある農地の場合】

市町村との協議状況(市町村長の同意書があるときは記入不要。)

【第1種、甲種、第2種農地の場合】

1 農地の中で他に適地(代替性)がないとき

場所選定経過 **別紙のとおり**

2 既存施設の拡張であるとき

既存施設の敷地面積 ㎡
既存施設の業務内容

既存施設と転用事業との関連性

3 農業従事者の就労機会の増大に寄与する施設であるとき

雇用計画(市町村等との雇用協定書があるときは記入不要。)

4 公益性が高い事業であるとき

その事業名
事業概要

記入例の解説

農振地区域内にある農地の場合

市町村長の同意書を添付してください。

農地の中で他に適正(代替性)がないとき

第1種、甲種、第2種、農地の場合は別紙「場所選定経過説明書」も必要となります。

既存施設の拡張であるとき

既存の施設の敷地面積の1/2までが転用できる面積となります。

添付書類の記入例(事業計画書(自己用個人住宅))

⑤

事業計画書(自己用個人住宅)

※他に事業計画書(共通)を添付する。

【所定面積を超える場合】

理由

農地が不整形であり、転用の目的のためには全面積を使用する必要があるため。

【第1種、甲種、第2種農地の場合】

場所選定経過 別紙のとおり

記入例の解説

所定面積を超える場合

一般住宅での所定面積は500㎡または建築面積の5倍のいずれか小さいほうになります。土地が不整形であり、通常の所定の面積のままでは不十分な場合などは、所定面積の1割以内まで転用の面積を増やすことができます。

農地の中で他に適正(代替性)がないとき

第1種、甲種、第2種、農地の場合は別紙の「場所選定経過説明書」も必要となります。

添付書類の記入例(被害防除計画書)

記入例の解説

①

被害防除計画書

1 用地造成に伴う被害防除措置

- ・ 土留め工事をする
- ・ 用壁を設ける
- ・ 法面保護をする
- ・ **緩衝地を設ける**
- ・ その他

盛土整地工事の場合、隣接の土地や道路に土砂が流出しないように十分な緩衝地をとり注意して工事を行います。

※ 周囲の農地、人家、道水路等への土砂の流出、堆積等を生じさせないための対策について、該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

2 排水計画

(1) 汚水(尿尿、工場排水等)

- ・ **合併浄化槽**
- ・ 浄化槽
- ・ 公共下水道
- ・ 汲み取り
- ・ その他

(2) 生活雑排水

- ・ **合併浄化槽**
- ・ 溜舂
- ・ 公共下水道
- ・ その他

(3) 雨水排水

- ・ 溜舂
- ・ 貯水池
- ・ 水路放流
- ・ **自然流下**
- ・ その他

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画等においてその位置・経路を示すこと。

3 隣接地への資材崩れ、近隣農地の日照・通風・通作及びその他の支障を与えないための被害防除措置

- ・ 防護柵を設ける
- ・ **緩衝地、緑地を設ける**
- ・ 施設・建物の高さを加減する
- ・ その他

建物は敷地の中央部に建築し、工事中の資材置き場等も隣接の土地との間に緩衝地を設けます

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

1. 用地造成に伴う被害防除措置

用地を造成する際に、隣接の土地への土砂などが流出しないための対策について記入します。

2. 農地の中で他に適正(代替性)がないとき

排水計画について記入してください。

3. 隣接地への資材崩れ、近隣農地の日照・通風・通作及びその他の支障を与えないための被害防除措置

既存の施設の敷地面積の1/2までが転用できる面積となります。